

ちいきとがっこう

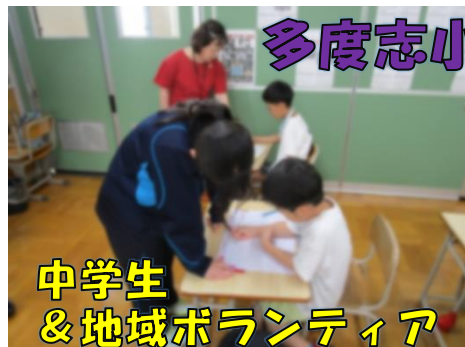
チャレンジ深川 夏

ボランティアの皆さんありがとうございました。

深川市教育委員会が「子どもたちの授業以外での学習習慣形成とよりよい生活習慣形成」を目的に、毎年夏休みに実施している学習教室「チャレンジ深川・夏」。市内小学校6校で、7月28日から30日の3日間の日程で実施しました。実施にあたり、各小学校を会場に、中学生、高校生、大学生、地域の方などボランティア82名のご支援をいただきました。

今年の小学生の参加率は42.8%。269名の子どもたちがこの「チャレンジ深川・夏」に参加し、教育委員会が用意したドリル問題に取り組みました。また、休み時間には、小学生と中学生・高校生が、ボール遊びや鬼ごっこ等をして交流を深める場面も見られました。

ボランティアからいただいたアンケートでは、「小学生と触れ合うことができてとても楽しかった」「とてもよい経験になった」という声が多数寄せられ、参加した児童にとっても、地域・学生ボランティアにとっても有意義な時間となったようです。



「地域の教育力」
で育てる！！

次回もまた参加したい理由は？

- みんなの笑顔が見れたり頑張っている姿が良かったから。(高校2年)
- 教える事に自信がついて、みんなとまた勉強したいから(中学1年)

中学生(24名)、高校生(33名)、大学生(2名)の参加がありました。

次年度も
協力者募集↑

アウトリーチ事業で フロの音楽に親しむ♪

納内・北新・音江・多度志小・一巳中

今回は、7月に市内小・中学校で「テノール歌手村上敏明さん、ソプラノ歌手大森智子さん、ピアノ奏者田村緑さん」によるオペラ歌曲の観賞とプロと一緒に合唱した様子を紹介します。

当日は、「カラスなぜ鳴くの」のフレーズでお馴染みの「七つの子」の歌の由来や大きな口を開けて空間を振動させる方法などを教えて貰ったほか、大きな迫力のある歌声やコミカルな演技を見せる本物のオペラの歌曲に子ども達は感激していました。「演奏中に一緒になってリズムを取ったり、歌ったりすることが歌い手としては嬉しい。」と教えられると、直ぐに実践し、歌い終わると「Bravo!!」と歓喜の声をお腹の底から叫んで体育館中に声を響かせました。



「smile again」や「翼をください」をフロと一緒に合唱



ピアノの中身が丸見え状態で演奏！？

ピアノコーナーでは簡単に外せる部品を剥がして、ピアノの構造が分かる状態にして演奏を披露。演奏中、子ども達は振動する響板を触らせてもらい、ピアノが奏でる音色をより身近に感じていました。

最後に児童と一緒に合唱をして終了しました。プロの音楽家による様々な演出により、あっという間の一時間でした。

一日防災教室 日頃の備えを！多度志小



雨竜川の氾濫？

浸水想定区域は？

6月19日、多度志小で「1日防災学校」が開かれました。河川の氾濫を想定した避難訓練の後、自治防災係職員から水害についての講話がありました。参加した児童や保護者、地域の方は4班に分かれて、実際に備蓄倉庫へ行き、職員から備蓄物品の品目の説明を受けました。

その後、避難所開設体験ということで、パーテーションと段ボールベッドを組み立て、テーブルやパイプ椅子を並べ、レスキューフーズの調理と試食を行いました。

した。消防署の職員によるAED体験も実施し、いざという時に活かせる充実した訓練となりました。



AED 体験



段ボールベッド組立



レスキューフーズ調理

発行：深川市学校支援地域本部（深川市教育委員会生涯学習スポーツ課）
問合せ先：深川市2条17番17号 電話番号：26-2343